令和9年度　B チャレ（提案公募型協働事業）新たなつながり部門

募集要項

1　目的

文京区社会福祉協議会（以下、文社協）は、地域連携ステーション　フミコム（以下、地域連携ステーション）の目的である「新たなつながりを創出し、地域の活性化や地域課題の解決を図るための協働の拠点」の体現化を目指し、提案公募型協働事業「B　チャレ」を行っています。本事業は、年度ごとに区が設定した地域課題に対して、その課題解決を目指して、申請団体が区やその他ボランティア・NPO・企業・行政・学生等と協働で取り組む具体的なチャレンジ（提案）を募集します。

※事業愛称として、文京（Bunkyo）の「B」、チャレンジの「チャレ」から「B チャレ」としました。

2　対象となる活動

次のいずれにも該当し、協働で実施される事業

（1）　文京区内の地域課題の解決を目的としている取り組み
（2）　社会貢献活動※として継続可能性のある取り組み
（3）　任意団体・NPO 法人・一般社団法人・企業等が主体となる取り組み

※営利目的ではなく、不特定多数の公益となる活動をさします。
※区内での活動実績がない団体であっても、区内を対象とした活動を展開する団体であれば申請相談が可能です。

3　対象期間

令和 9 年 4 月 1 日から令和 10 年 2 月 29 日までに実施する事業

4　募集テーマ

次に掲げる重点テーマのいずれかに則した事業であること

1. 町会・自治会の活動についての周知や加入促進についての継続的な発信を　SNS　等で行うためのサポートをする取り組み
2. 町会・自治会等が行う地域コミュニティ活動の新たな担い手を創出するために区内で新しいつながりづくりに取り組む活動
3. 区民と外国籍住民がやさしい日本語で交流し、国際理解の促進を図る場をつくる取り組み
4. 高齢者クラブの活動における事務負担の軽減につながる取り組み
5. 高齢者クラブの会員数増加につながる取り組み
6. 未就学児～小学生を対象にこどもの権利の普及啓発を行いながら、意見表明の機会を創出する取り組み
7. 家庭の CO_2排出量削減を促進するために、区民の意識啓発につながる取り組み
8. 不登校の児童・生徒に有益な情報を集約・発信する取り組み
9. 図書館内のスペースを活用し、10 代の子ども若者を対象とした利用促進を図るための取り組み

10.　文京区在住の 19 歳～39 歳の若者が地域活動に参加する機会の創出につながる取り組み
11.　その他、団体の専門性を活かしたテーマで提案された取り組み

5　助成金額

1 事業当たり　上限 100 万円/年度継続
※同じ事業は最大 3 年まで継続可能ですが、毎年申請相談→審査会を実施します。

6　対象経費

以下を除いた、申請事業に関わる経費で、審査会で認められたもの

※対象とならない経費※
1. 団体が継続的に使用している器具什器等の買い替え費用
2. 相場価格以上の講師謝礼金
3. 助成対象経費とすることが適当でないと会長が認める経費

7　申請の流れ

【申請期間】
令和 8 年 11 月 4 日(水)～12 月 16 日(水)23:59 まで

【応募方法】
申請相談を経て提案内容が決定次第、エントリーシート一式をお渡しします。申請相談期間内に、エントリーシート一式や、その他必要書類を添えてご提出ください。ご相談の際には必ずご予約をお願いします。
（予約フォーム）
https://112ba63d.form.kintoneapp.com/public/5f4ff5bd8f760c74c3f5c0d45ba33465d6615f636dee1d00a9239ba1cf6ec1dc

【提出書類】
1.「新たなつながり部門」エントリーシート一式
（団体概要調書、事業計画書、事業スケジュール、収支予算計画、関係者マップ）
2.団体名簿 ※役員名簿でも可
3.団体規約 ※または定款・法人登記等
4.団体概要が分かる資料 （パンフレット、会計報告等）
5.提案内容の参考となる資料

【審査のスケジュール】
令和 9 年　1 月 中旬　書類審査、書類審査結果通知
1 月 26 日午後(予定)　プレゼン審査(対面で行います)
2 月 上旬　採択結果通知
※プレゼン審査の詳細な場所や時間につきましては、書類審査終了後に書類審査通過団体様にご連絡させていただきます。

【審査基準】

団体からの申請を受けて、文京区と文社協で下記の項目について審査を行います。

1. 実施内容
   団体が取り組みたい課題は、文京区のニーズを捉えられて明確なものか
   実施事業に区や区民への貢献性があるか
   実施事業に他の団体との連携・協働の視点があるか
2. 事業の目的・概要
   重点テーマとして挙げられている地域課題の解決に沿った内容か
   提案内容に団体独自の視点や取り組みがあるか
3. 対象の明確さ
   対象が具体的であり、事業の目的・概要に沿っているか
4. 実効性
   事業スケジュールは実現可能であり実施概要に沿った内容になっているか
5. 将来性
   事業が実施されることで、一時的な効果だけではなく将来的な展開が見込めるか
6. 費用の妥当性
   実施に必要な費用が積算されており、妥当性があるか
7. 実施体制
   事業実施に必要な体制はあるか
   関係図は他者が見て理解しやすい状態になっているか
8. 取り組みへの意欲
   実績、熱意を含めて、B チャレに取り組む意欲を感じるか

8 事業スケジュール

採択団体は、年度始めの 4 月にスタートアップ会議を実施し、関係課とともに成果指標を設定します。9～10 月頃にはそれを踏まえた中間報告会議を行い、2 月～3 月頃には最終報告会議を行います。また、文京区社会福祉協議会が行うふみこむフェスタ（毎年 2 月頃開催）において、出展または展示品による成果報告を行っていただきます。助成事業終了後には、所定の様式にて実績報告書をご提出いただきます。実績報告書は、文社協ホームページなどで適宜公開します。

令和 8 年（2026 年）
- 11 月 4 日（水）　申請受付開始
- 11 月 14 日（土）　事業説明会
- 12 月 16 日（水）　募集締切

令和 9 年（2027 年）
- 1 月中旬　書類審査結果通知
- 1 月 26 日（火）　プレゼン審査
- 2 月初旬　採択団体の決定
- 4 月　事業開始
- 10 月頃　中間報告会議

令和 10 年（2028 年）
- 2 月　事業終了、ふみこむフェスタへの出展もしくは展示
- 3 月　最終報告会議、実績報告書提出

9　事務局について

　地域連携ステーション市民活動担当の職員が本事業の事務局です。各事業に担当がつき、「協働のコーディネーター」として、活動に伴走していきます。

【団体の役割】

1. 事業における課題を明確化、根拠の提示、データの収集
2. 事業実施前と実施後の変化の仮説を立てた上での事業の組み立て
3. 協働相手との連携・調整も含めた主体的な事業実施
4. 地域連携ステーション・協働相手への適宜の進捗共有と相談
5. 実績報告書の作成、助成金対象支出の根拠資料の提出

【地域連携ステーションの役割】

1. 団体からの相談を受け、団体体制や事業内容の検討や助言
2. 必要に応じて適宜、専門相談等へのつなぎ
3. 他団体との連携提案や紹介
4. 広報や周知の協力
5. 団体との成果報告の検討

＜お問合せ＞

社会福祉法人文京区社会福祉協議会　地域連携ステーション　フミコム（市民活動担当）
文京区本郷 4-15-14　文京区民センター地下 1 階

電話　:03-3812-3044　E-mail:fumikomu@bunsyakyo.or.jp

文社協 HP　B チャレとは

B チャレ HP